

事務事業評価シート

| | | |
|------------|-------------------------------------|---------------|
| 事業番号 15 | 事務事業名 地球温暖化対策事業費(環境チャレンジ、環境アワード) | 所管部課 環境保全課 |
|------------|-------------------------------------|---------------|

| | | |
|---|--|---|
| 事務事業の概要 | 事務事業の目的【1】 | 根拠法令等【2】 |
| | 市民一人ひとりに環境にやさしい行動の実践を促す「にしとくきょう環境チャレンジ」及び環境にやさしい行動に積極的に取り組む個人・団体・学校・事業者などを表彰して機運を高める「にしとくきょう環境アワード」を実施することにより、2050年のゼロカーボンシティの実現を目的とする。 【根拠法令等:にしとくきょう環境チャレンジ事業実施要綱、にしとくきょう環境アワード要綱】 | <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則等 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領 |
| | 事業内容・実施方法等／補助の概要【3】 ■にしとくきょう環境チャレンジ 【実施内容】 ・環境に配慮した行動に対して付与されるポイントで、環境に配慮した景品が当たる抽選に応募できる事業 【実施方法・実施期間】 ・令和5年度：紙資源の削減のため、西東京市公式LINEで実施。実施期間は令和5年8月1日～令和6年1月31日 ■にしとくきょう環境アワード 【実施内容】 ・実践的な取組を進める個人・団体・学校・事業者を表彰し、多くの方が実践できるようその取組を紹介する事業 【実施方法・表彰日】 ・令和5年度(予定)：表彰日は令和5年11月12日に開催する西東京市民まつり会場内の野外ステージにて実施予定 | |
| 事業開始時期【5】 令和4年度 実施形態【6】 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 () | | |

| 項目 | 令和2年度 (決算額) | 令和3年度 (決算額) | 令和4年度 (決算見込額) | 令和5年度 (予算額) | 単位 |
|---|----------------|----------------|------------------|----------------|----|
| 事業費(A)【7】 | — | — | 342 | 541 | 千円 |
| 内訳 | | | | | |
| 主要な経費: 報償費 | — | — | 257 | 409 | |
| その他: 需用費、役務費 | | | 85 | 132 | |
| 財源 | | | | | |
| 国庫支出金・都支出金 | | | | | |
| 地方債 | | | | | |
| 内訳 | | | | | |
| その他 () | | | | | |
| 一般財源 | | | 342 | 541 | |
| 所要人員(B)【8】 | — | — | 0.26 | 0.26 | 人 |
| 人件費(C)=平均給与×(B) | | | 1,899 | 1,899 | 千円 |
| 会計年度任用職員報酬等(C')【9】 | — | — | | | 千円 |
| 総コスト(D)=(A)+(C)+(C') | | | 2,241 | 2,440 | 千円 |
| 単位当たりコスト【10】 (E)=(D)/ (にしとくきょう環境チャレンジ参加者数と にしとくきょう環境アワード応募数の合計) | | | 17 | — | 千円 |

| 指標名 | 令和2年度 (実績値) | 令和3年度 (実績値) | 令和4年度 (実績値) | 令和5年度 | 単位 |
|------------------------|--|----------------|----------------|-------|----|
| ①にしとくきょう環境チャレンジ(参加者数) | — | — | 100 | | 世帯 |
| ②にしとくきょう環境アワード(応募数) | — | — | 33 | | 団体 |
| 《指標の説明・数値変化の理由 など》【12】 | 環境チャレンジは参加者数の増減を指標としてとらえられるが、環境アワードについては表彰団体の活動内容を広く市民に周知することによる環境活動の普及促進が目的であるため、応募数を指標と設定しているものの、見直しが必要になってくる。 <参考:報償費の内訳> 【11】①にしとくきょう環境チャレンジ R4:207千円、R5:359千円 ②にしとくきょう環境アワード R4:50千円、R5:50千円 | | | | |

| | | | |
|-------|-------------------------------------|---|--|
| 事業環境等 | 市民・関連団体等の意見【13】 (アンケート結果など) | にしとくきょう環境チャレンジでは、参加者から「環境配慮行動のきっかけとなった」「周知方法等をわかりやすく」という意見があった。また、にしとくきょう環境アワードについては、「励みになった」という意見があった。 | |
| | 他団体のサービス水準との比較【14】 (平均値、本市の順位など) | <input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 | 多摩26市において、にしとくきょう環境チャレンジと同様の事業を行っている市は本市を含めて5市、にしとくきょう環境アワードと同様の事業を行っている市は本市を含めて3市である。 |
| | 代替・類似サービスの有無【15】 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | |

【一次評価】

| 検証項目【16】 | | 判定 | 判定理由 |
|--|-----------|--|--|
| A | 事業の必要性 | 普通 | ゼロカーボンシティの実現に寄与する事業である。 |
| | 実施主体の妥当性 | 適切 | 市内のみを対象とした同様のサービスを提供している民間団体等がない。 |
| B | 事業(補助)の対象 | 課題有 | 環境アワードは、「学校」は表彰ではなく、環境推進校として別に市が認定する方法もあると考える。 |
| | 事業(補助)の内容 | 適切 | 活動内容を広く普及させることを目的とし、団体を表彰して幅広く周知することは効果があるとする。 |
| | 受益者負担 | 適切 | 環境活動への意識啓発が目的であるため、現在の状況で問題ないと考える。 |
| | 事業コスト | 普通 | 環境チャレンジ・環境アワードの参加者数・応募者数を鑑みれば、適正であるとする。 |
| | 業務負担 | 多い | まだ普及段階の事業のため、試行錯誤していく必要があり業務負担は多い。 |
| 検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 | | | |
| 一次評価【17】 | | 評価の判断理由及び現状の課題など【18】 | |
| <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 | | <p>にしとぎょう環境チャレンジにより、参加した市民について、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組が推進され意識醸成が一定程度図られたと考えられる。にしとぎょう環境アワードでは、表彰された取組をホームページにて市民に周知して環境活動の普及促進に努めている。今後は、両事業について、より多くの市民に意識が広がるよう継続して実施していく必要がある。</p> <p>また、周知方法について意見があったため、事業を広く分かりやすく周知できるよう取り組む必要がある。</p> | |

【二次評価】

| 検証項目 | | 判定 | 判定理由 |
|--|-----------|---|---|
| A | 事業の必要性 | 普通 | ゼロカーボンシティの実現に向け、市民一人ひとりの環境意識の啓発に資する事業である。 |
| | 実施主体の妥当性 | 適切 | 市が主体となって行う必要がある。 |
| B | 事業(補助)の対象 | 課題有 | 真に効果的な対象・事業となっているか、改善の余地がある。 |
| | 事業(補助)の内容 | 課題有 | 事業手法や内容、周知方法等に改善の余地がある。 |
| | 受益者負担 | — | 受益者負担の考え方には該当しない。 |
| | 事業コスト | 低い | 他自治体と比較して低コストである。 |
| | 業務負担 | 普通 | 事業規模から、実施効果に相応した業務負担である。 |
| 検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 | | | |
| 二次評価【17】 | | 評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等【18】 | |
| <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 | | <p>ゼロカーボンシティの実現に向け、市民一人ひとりの意識啓発は重要な課題であり、市として力を入れていくべき分野である。両事業は、広く個人や団体等を対象として実施されているものの、主なターゲットの設定・絞り込み、またそこを狙った有効な事業展開となっておらず、効果が見えにくい。意識啓発・普及啓発という側面であれば、例えば参加者数の少なかった「環境チャレンジ」の規模を縮小し、参加の多かった「環境アワード」において、学校や地域・家庭内のつながり・展開を意識した内容や、市の環境を考えていく上で重要な主体の一つである”市内企業”と連携した取組とするなど、効果的な事業展開について検討する必要がある。両事業の予算配分の見直しや統合などを含め抜本的な見直しが必要である。</p> | |

【外部評価】

| 外部評価【17】 | 評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等【18】 |
|---|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 | |

【行革本部評価】

| 行革本部評価【17】 | 評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等【18】 |
|---|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 | |

| | |
|----------------------|--|
| 改善の方向性と今後のスケジュール【19】 | |
|----------------------|--|